

FQ-C70G 工事説明書 給排気筒取付け型紙

壁固定金具穴位置

標準給排気筒の取付け

④ 給排気筒セットを、トップ本体とチャンバー室にねじって分離してください。このとき、給気ジョイントはトップ本体に取り付けた状態で分離してください。

⑤ 壁厚が230mm～320mmのときは、給排気筒はそのままの状態で使用してください。

お願い

壁厚が320mm以上の壁穴に取り付けますと、トップ本体が外れるおそれがありますので、320mm以上の厚みのある壁には取り付けてください。排ガスが室内に漏れることができます。

⑥ 壁厚が130mm～230mmのときは、トップ本体から、給気ジョイントと排気ジョイントを取りはずしてください。

お願い

●排気ジョイントをもう一度取り付ける場合は、必ずトップ本体側に取り付けてください。

⑦ チャンバー室の「上」マークを確認して室内から壁面に木ねじ等(3本)で固定してください。(フランジの「上」マークを上にして取り付けますと、先下りの2°勾配になります。)

⑧ トップ本体を室外より壁穴を通して、チャンバー室へ軽くねじ込んで(右廻し)壁をはさんで固定してください。

⑨ チャンバー室の給気側配管接続口に、L形給気ホースエンドと給気ホースを接続して、ホースバンド(大)で固定します。チャンバー室の排気側配管接続口に排気用L形継手を接続します。

お願い

●L形給気ホースエンドと給気ホースは、ねじって取り付けます。
●L形給気ホースエンドと給気ホースを固定するとき、ホースバンド(大)で締め付けると変形することがありますので、変形しないように注意してください。
●給気ホースとL形給気ホースエンドのはめ込みが固い場合は給気ホースに水または石鹼水をぬってからねじ込んでください。

⑩ 本体背面の排気筒外れ検知線(白色のリード線)をはずすと、丸端子を給排気筒のチャンバー室に取り付けてあるタッピングねじを使用して固定します。

5 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず油抜きをしてください。リサイクルの支障となります。

⑪ ストーブを置台ごと静かに移動させ、ストーブ背面の排気口を排気用L形継手にはめ、給気口をL形給気ホースエンドにはめ込みホースバンド(大)で固定します。確実に差し込まれていることを確認してください。

お願い

●給気ホースは適度な長さにニップルやカッターナイフなどで切ってください。

⑫ 排気用L形継手とストーブの排気口の接続部に排気筒ストップバーをめらます。排気用L形継手とチャンバー室の接続部にパイプホルダーを取り付けます。

⑬ ⑮ 項で軽くねじ込んで固定したトップ本体を、もう一度強くねじ込んでしっかりと固定してください。
●「上」マークを上側にすると約2°の傾斜がとれて、設置できます。

⑭ トップ本体のフランジ部全周などにコーキング剤(シリコン系)を塗布し、雨仕舞をしてください。

お願い

完全にコーキングしないと、雨水が室内や壁内に入ることがありますので、充分注意してください。

延長給排気工事の限界

■延長工事部品は、必ずトヨトミ純正別売品 FFP-16-4043(1m延長セット)FFP-17-4043(2m延長セット)などを使用してください。

●給排気筒の長さは3m以下、曲がりは3箇所以下にしてください。

●標準給排気方式以外にもお部屋の条件によって、排気筒と給気ホースを延長して取り付けることができます。ただし延長限界は3m以下で曲がり3箇所以下です。

お願い

●やけど防止のため排気筒には、必ず断熱カバーを装着してください。
●壁や給気ホースに排気筒が接触しないように、パイプ支え金具で壁などに固定してください。

集合煙突利用の禁止

高層建築の集合煙突を利用しての給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。

給排気筒の再利用時の注意

古い給排気筒は使用しないでください。必ず附属の給排気筒セットを使用してください。

4 試運転

試運転は、ご使用者と一緒に必ずおこなってください。

お願い

●取扱説明書「15 据付け、移設について」の「試運転」に従って、運転準備、運転、消火の手順の試運転をおこなってください。

●ストーブの据付け工事が終わったら、必ず試運転をおこない、使用者に運転方法はもちろんのこと、日常の点検・手入れの方法、定期点検、故障・異常時の処理方法、連絡先等をお教え願います。

●同梱の「取扱説明書」、「保証書」と共に工事終了後はこの「工事説明書」をお客様にお渡し願います。

5 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず油抜きをしてください。リサイクルの支障となります。

⑪ 本体背面の排気筒外れ検知線(白色のリード線)をはずすと、丸端子を給排気筒のチャンバー室に取り付けてあるタッピングねじを使用して固定します。

●排気筒外れ検知線を接続しないと、ストーブは燃焼できません。

●使用しないチャンバー室の給気口には、給気口キャップをかぶせておいてください。

工事店様へのお願い

この製品は
●排気筒内径 → $\phi 40$ 、外径 → $\phi 41$
●給気筒接続外径 → $\phi 43$ 、内径 → $\phi 42$
になっています。

標準給排気筒の取付け

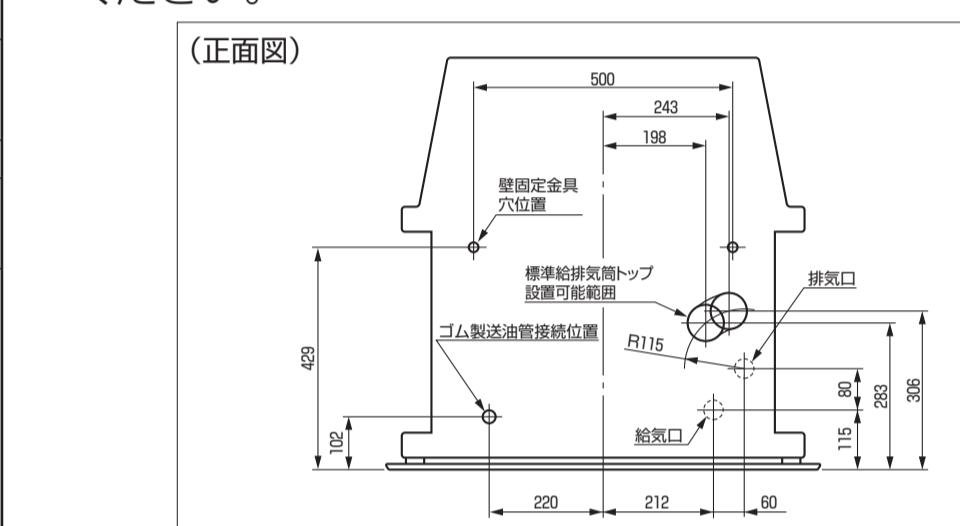
注意

- 壁内の鉄筋・鉄骨・電気配線・ガス水道の配管を充分考慮してください。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものには使用できません。

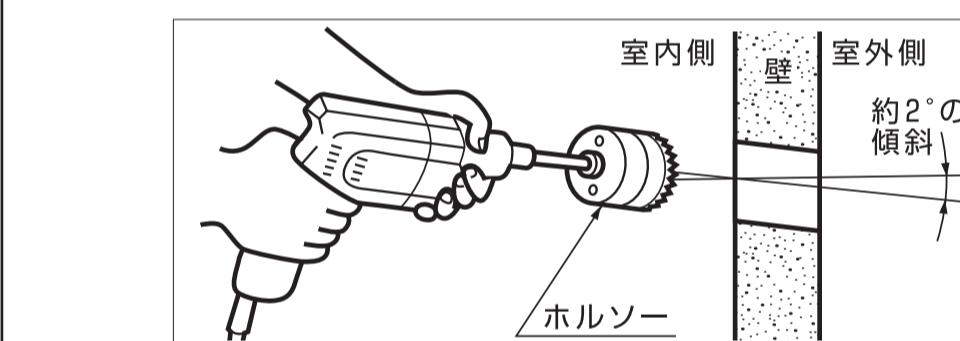
指示

- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものである場合は、別売部品を使用してください。

- 給排気筒の取付け、本体の固定方法は、裏面の説明書を良くお読みください。
- 設置場所を決めてください。
- 給排気筒の穴あけ位置を決めてください。
同時に壁固定金具の取付け位置のねじ穴にも印をつけてください。



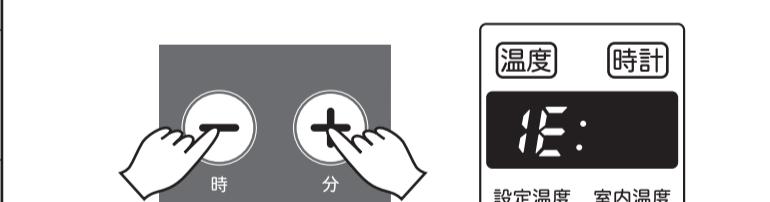
●壁に給排気筒の穴($\phi 70$ ～ $\phi 80$)を開けてください。室内側から室外に向けて約2°の傾斜で下向きに開けてください。



高地仕様への変更のしかた

(標高1000～1500mの場所でご使用の場合)

1. 運転停止中に「-」「+」ボタンを同時に3秒押します。
デジタル表示部が「1 E」表示に変わります。
(室内温度が表示されていることもありますか問題ありません)



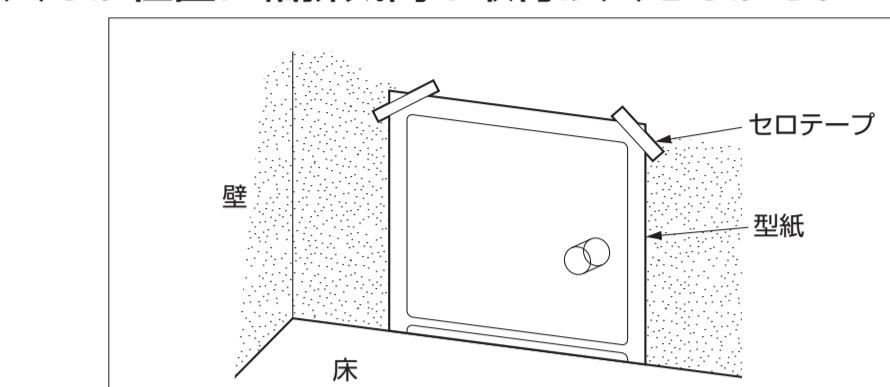
2. デジタル表示部が「1 E」表示中にタイマー・ボタンとエコボタンを3秒間押し続けます。
ブザー音がしてデジタル表示部に「AL Hi」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻ります。これで高地設定は完了です。
一度設定をすれば電源プラグを抜いたり、停電があった場合でも高地設定は保持されます。



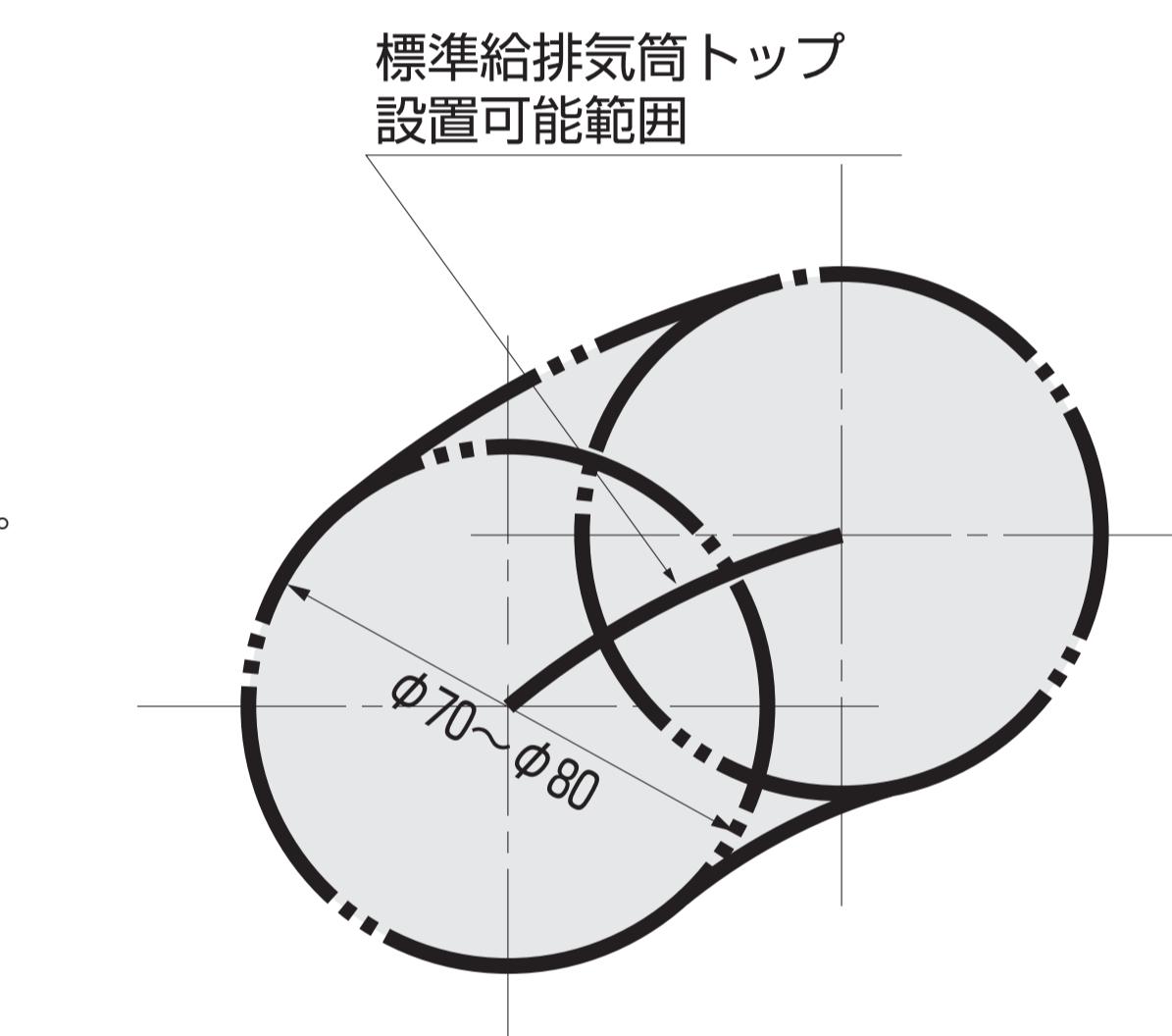
もし、高地設定を解除したいときは、1の操作からやり直してください。ブザー音がしてデジタル表示部に「AL Lo」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻れば、高地設定の解除は完了です。



- 型紙のご使用方法**
- 1.型紙の床面を床に合わせて壁に貼り付ける。
 - 2.壁固定金具が取り付けやすい位置を選びねじを取り付ける位置に印をつける。
 - 3.穴あけ位置に給排気筒の取付け穴をあける。



壁固定金具穴位置



■可燃物との距離は下図に示す寸法以上離して設置してください。

